

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和07年06月17日(火)

1. 基本事項

施策		子育て支援の充実		期間	令和5年～令和9年	施策担当課名	子ども未来部	子ども青少年課
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	目的・対象				
	中項目	1	健やかに成長できるまちづくり					
	小項目	1	子育て支援の充実					
	主要プロジェクト							
重要度・満足度	子育て家庭に対する支援の充実に対する市民の重要度は高く、満足度は高くなっています。			施策推進のための主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての経済的負担を軽減します ・地域における子育て支援を行います ・子育ての不安を軽減します 			
施策を取り巻く社会状況等	全国的に毎年の出生数が減少する一方で、核家族化の進行、就労形態の多様化などにより、子育てに対するニーズは高まっています。社会経済状況の著しい変化などに伴い、子育て家庭の経済的困窮や、孤立などが問題となっています。							

2. 評価指標

上段は目標値（令和4年度は前期基本計画に基づく目標値、令和5年度以降は後期基本計画に基づく目標値）、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			子育てがしやすいまちと感じている市民の割合	%	74.00	80.00	80.00	80.00
成果指標	深谷市民まちづくりアンケート	%	80.00	83.90	82.70			
	ファミリーサポートセンター延べ支援件数	件	1,360.00	1,721.00	1,721.00	1,721.00	1,721.00	1,721.00
			1,048.00	1,196.00	1,070.00			
	児童虐待管理数	件	82.00	81.00	81.00	81.00	81.00	81.00
			73.00	72.00	67.00			

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
<p>子育てがしやすいまちと感じている市民の割合が70%台を推移していたが、令和4年度から目標値の80%台となり、令和6年度は82.7%と目標を達成している。今後もこの割合を維持していけるよう子育て家庭を対象に、子育て環境を整備していく。ファミリーサポートセンターの延べ支援件数は前年度に比べ減少しており、目標値まで達していないが引き続き子育てしやすい環境整備の一つの事業として継続をしていく。</p>				
				評価者
				子ども青少年課長 美野田 芳二

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等
<input type="checkbox"/> 既存事業の拡充	子育てがしやすいまちと感じている市民の割合が多いため、ファミリーサポートセンター事業や児童相談事業の継続を含め、子育ての支援が必要な保護者や児童に対して、必要な支援が行えるよう、今後も関係機関と連携を図る。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価（所属長の見解）

<p>子育てがしやすいまちと感じている市民の割合が多くなり、目標値を上回っている。引き続き子育て環境の整備を進め、更なる満足度の向上を目指していく。また子育ての支援が必要な保護者や児童に対して、必要な支援が行えるよう、今後も関係機関と連携を図りながら対応を行う必要がある。</p>	
所属長	子ども未来部長 宮島 稔